

令和5年度地元産業界等と連携した実践的PBLを含む授業科目等の開講

札幌国際大学	①	i. 連携している地元産業界等の組織名称	北広島市
		ii. 当該授業等を実施する学部・学科	①スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 ②スポーツ人間学部スポーツ指導学科
		iii. 当該授業等を開講する目的	当該授業は、北広島市と本学が包括連携協定を締結することにより、官民連携に加え、教育機関の知見や人材提供の実現と、将来的には民間企業も交えた産学官民が共同するプロジェクトを展開することを目標とする。中長期的に産学官民が共同するプロジェクトの展開を目標にする一方で、短期的には本学が有する知見と人材(学生)を提供し、同市が直面する諸課題を批判的かつ建設的に検討しつつ、その解決に向けた活動に取り組むことによって産学官民プロジェクト展開の一助となる知見を得る。 そこで本活動における学生の目的は、学外でのフィールド(北広島市)を活用したアクティブ・ラーニングを展開し、同市が直面する諸課題に対する資料を得ることである。
		iv. 当該授業等の具体的な内容	当該授業では、関連する活動を「北広島プロジェクト」と称し、学生主体の課題解決型プロジェクトとして展開する。具体的な活動内容は、以下の通りである。 ① 北広島市について文献調査および実地調査を実施する。 ② 課題の抽出とその課題解決に向けたアクティブ・ラーニングを展開する。 ③ 課題解決に向けた企画を立案し、企画書を作成する。 ④ 北広島市役所職員に企画書を発表する。 ⑤ 企画に対し、協議を重ね実施に向けて検討する。 ⑥ 企画の準備、運営を行う。 ⑦ 企画を振り返り、評価、反省、協議と報告書の作成を行う。
札幌国際大学	②	i. 連携している地元産業界等の組織名称	北海道高等学校体育連盟
		ii. 当該授業等を実施する学部・学科	①スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 ②スポーツ人間学部スポーツ指導学科
		iii. 当該授業等を開講する目的	全国高等学校総合体育大会の果たす役割は、教育活動の一環として高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動も含め生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成する欠かせないものとなっている。この健全な青少年育成の視点は、競技者として参加するもののみならず、競技者を支える運営側の立場として参加する高校生においても同様の意義を持つ。高校生が運営側として参加する場合にはボランティアとしての関わり方が一般的であるが、世界の高校生と比べて日本の高校生のボランティアに対する参加経験や興味関心が低いことが報告されている。ボランティアに参加する高校生の動機付けやモチベーションの向上を図ることで、より効果的な健全な青少年育成につなげられると考えられる。また、大学生が、高校生への指導などに関わることで、実践的能力の構築が期待できる。上記教育効果の達成を目的とする。
		iv. 当該授業等の具体的な内容	本事業は、学生主体の課題解決型プロジェクトを展開する。 高校生のボランティア参加に対する意識調査やモチベーション向上に関する文献調査などを行い、課題の抽出とその課題解決に向けたアクティブ・ラーニングを展開する。大学生は、抽出された課題をふまえて、高校生のボランティア参加に対するモチベーションが向上するための研修機会を構築し、実践することで、汎用的な能力および課題解決能力の向上をはかる。 また、本事業に参加する高校生と大学生を対象に、研修の前後にアンケート調査を採用し、学生の汎用的能力および課題解決能力の変化を比較するためにPreアンケート調査とPostアンケート調査を実施する。
札幌国際大学短期大学部	公表内容	i. 連携している地元産業界等の組織名称	札幌市清田区
		ii. 当該授業等を実施する学部・学科	短期大学部 総合生活キャリア学科
		iii. 当該授業等を開講する目的	1年次に学んだスキルを活かして、外部の企業、団体と協力し、長期間チームで協力して1つのプロジェクトを成し遂げることを通して、企業とのやり取りでビジネスマナーを生かし、期間内に成果を上げられるような計画力、スケジュール管理能力を実践で試し、長期間メンバーと協力して、協働を体験を通して学ぶ。学科で学んできたことを実地で生かす機会として開講している。
		iv. 当該授業等の具体的な内容	教員の指導の下、外部団体または企業とともに、目標を立て、1年かけて目標の達成のために活動し、その成果をまとめて発表する。企業との打ち合わせ、その年の企画内容の確認、企画実施までのスケジュール作成、スケジュールに沿って活動を行い、成果をまとめ、チームごとにポスターを作成し学内に掲示すると同時に、活動の過程とそこからの学びをまとめたプレゼンテーションを、学期末に、学内で行う。チームごとの活動として、学園祭でのPRブース店の運営、新商品の開発、商品PRの素材作成(SNS、チラシなど)、提案用パンフレットの作成などがあげられる。プロジェクトの成果は、学内にてポスターで発表すると同時に、年間の活動をまとめた学科の総合報告書を作成している。学生の活動内容については、教員と関連企業の担当者と両方で確認し、担当者の意見を参考に教員が評価する他、学生の自己の振り返りを重視し、個人レポート、ピア評価を作成させ、全て勘案し評価するものである。